2019年3月期決算 及び 中期経営計画 説明会

日産東京販売ホールディングス株式会社

代表取締役社長　酒井　信也
副社長執行役員　竹林　彰

2019年5月27日（月）

東証一部　証券コード 8291

本日お伝えしたいこと

1．2019年3月期決算概要

2．2020年3月期業績予想

3．新・中期経営計画

■Appendix■
4． 当社の概要

日産系自動車ディーラーを主軸とした事業

日産プリンス西東京　久留米店

日産プリンス東京　谷原店

東京日産　荒川店

東京日産　八王子みなみ野店

日産プリンス西東京　町田鶴川店

日産プリンス東京　鮫洲店

- 東京日産
- プリンス東京
- プリンス西東京
- ルノーNT販売

１．2019年3月期決算概要

代表取締役社長　　酒井　信也

1.2019年3月期決算概要

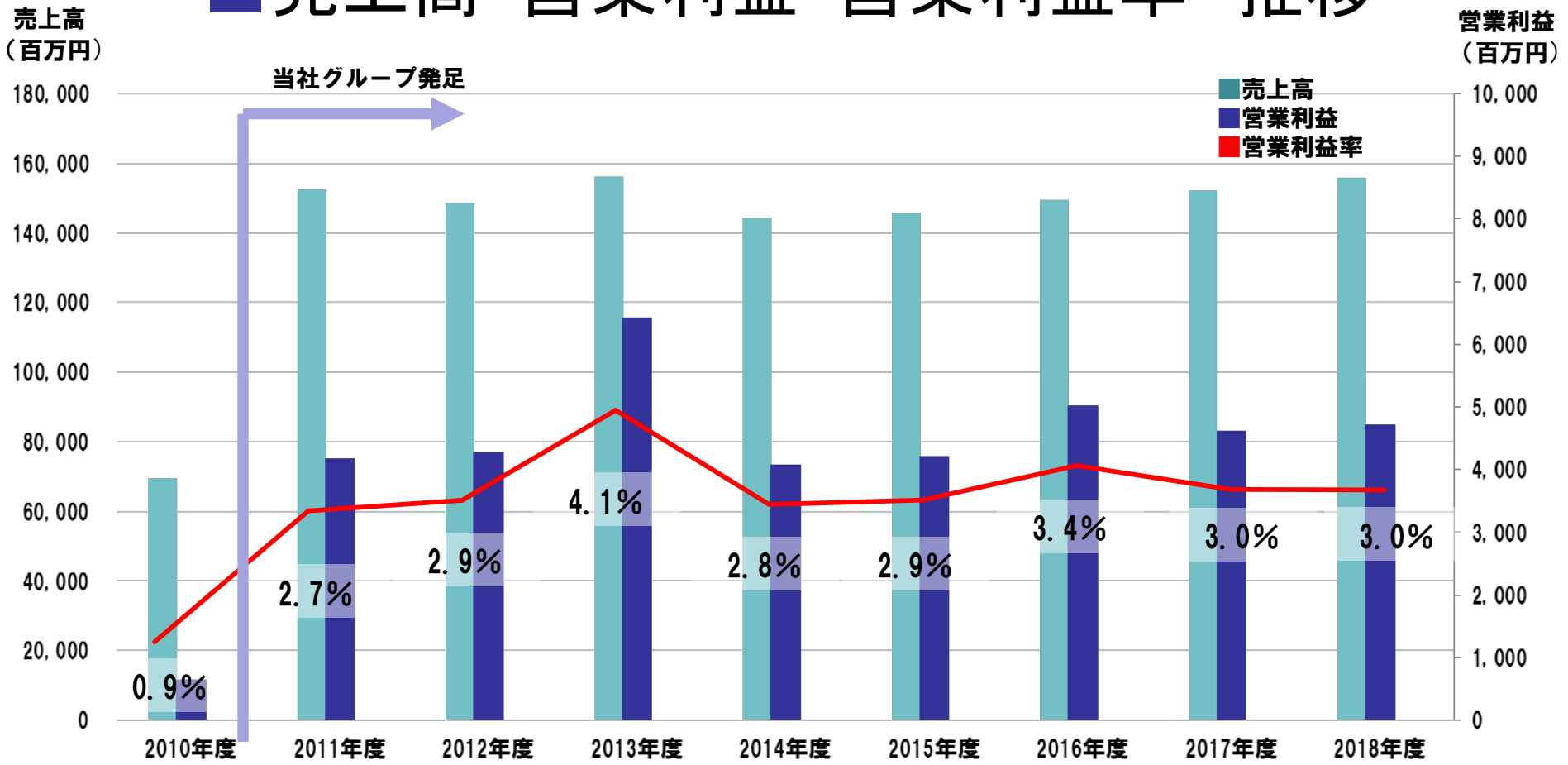
決算サマリー

（百万円）

	2019年3月期	2018年3月期	前年同期比	
売上高	155,801	152,023	+3,778	+2.5%
営業利益	4,721	4,616	+105	+2.3%
経常利益	4,292	4,061	+231	+5.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,728	2,187	+541	+24.7%

1.2019年3月期決算概要

売上高・営業利益・営業利益率　推移



1.2019年3月期決算概要

■ポイント

①新車の販売台数　31,748台（前年比+1.5%）

②EV（リーフ）やe-POWER搭載車（ノート・セレナ）
による販価アップ

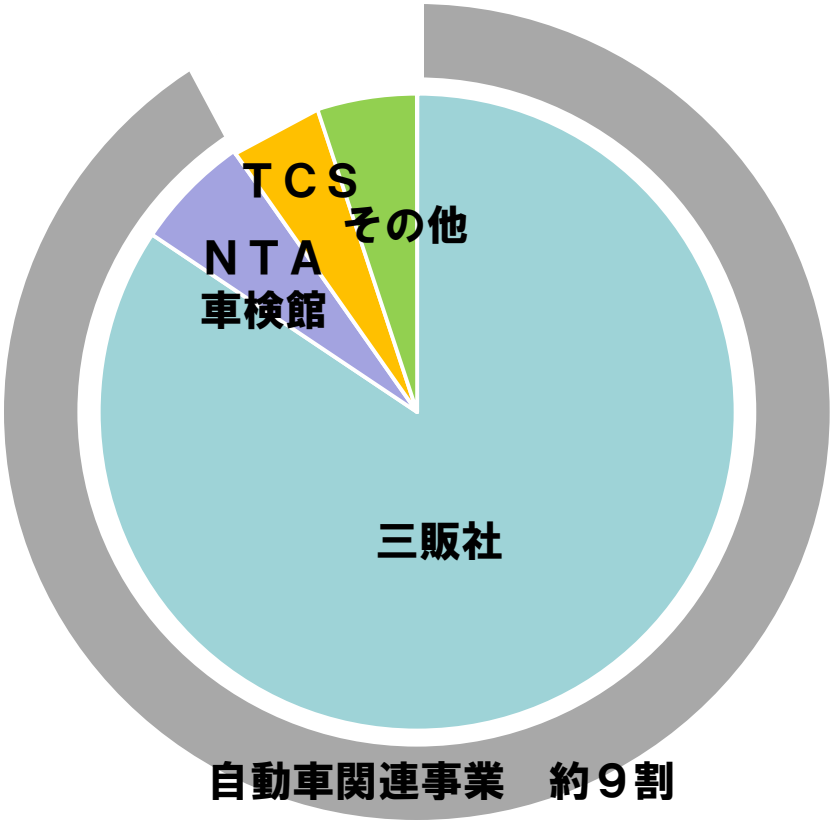
③中古車、整備事業が堅調に推移

④グループ会社
東京日産コンピュータシステム㈱
過去最高益更新

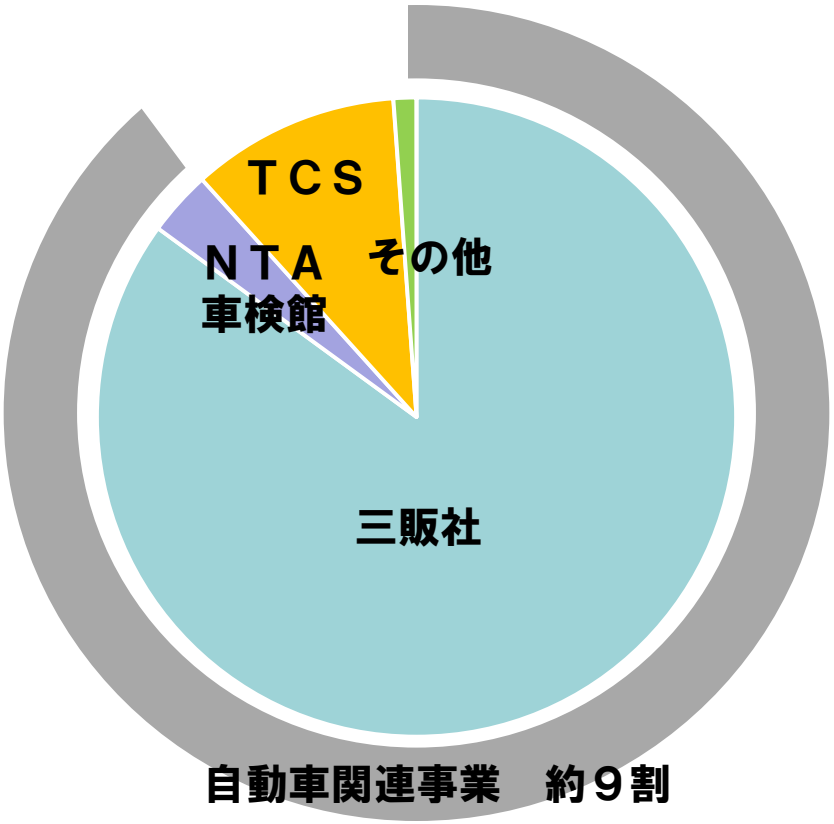
1.2019年3月期決算概要

■売上高・営業利益の内訳

売上高

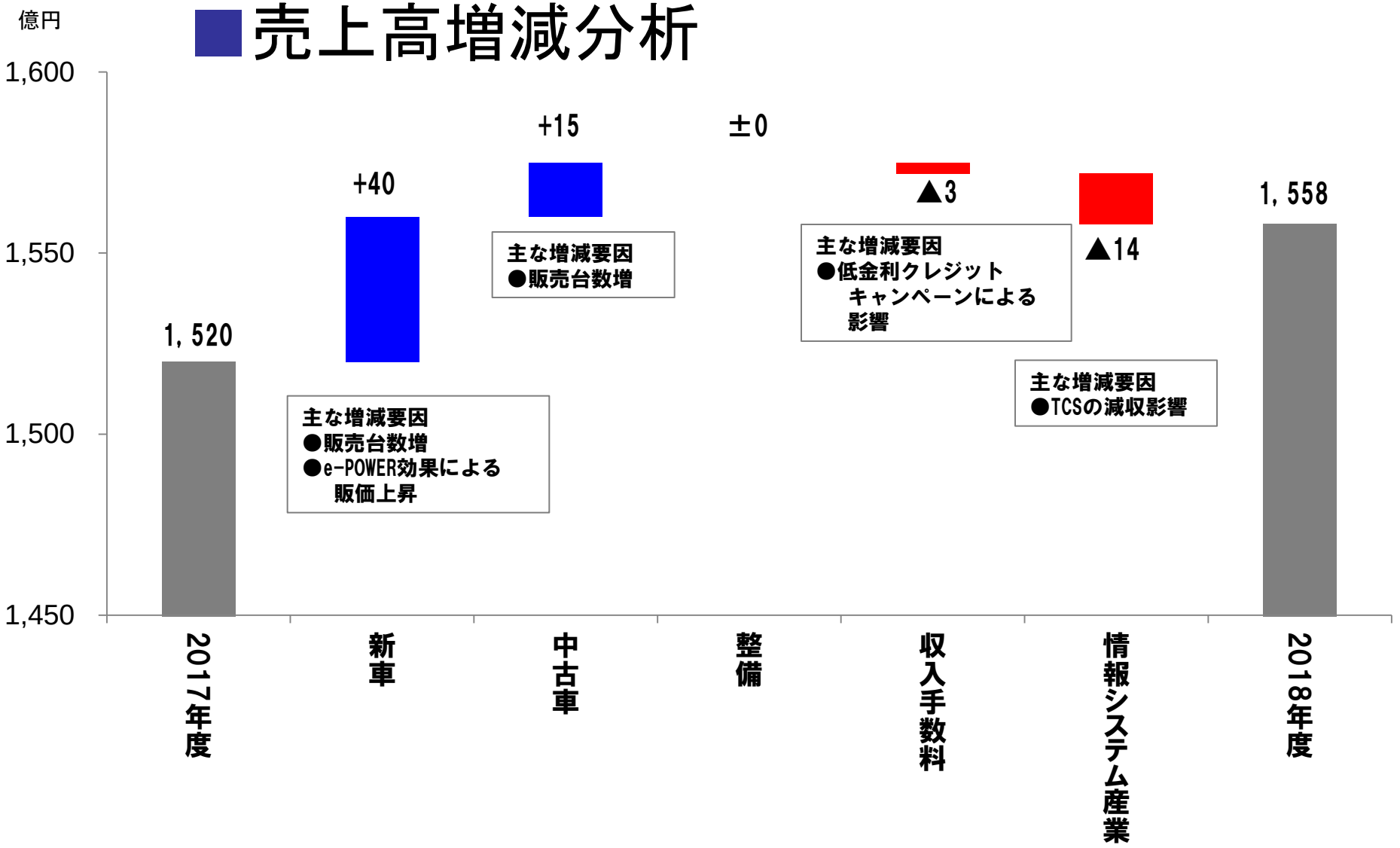


営業利益



1.2019年3月期決算概要

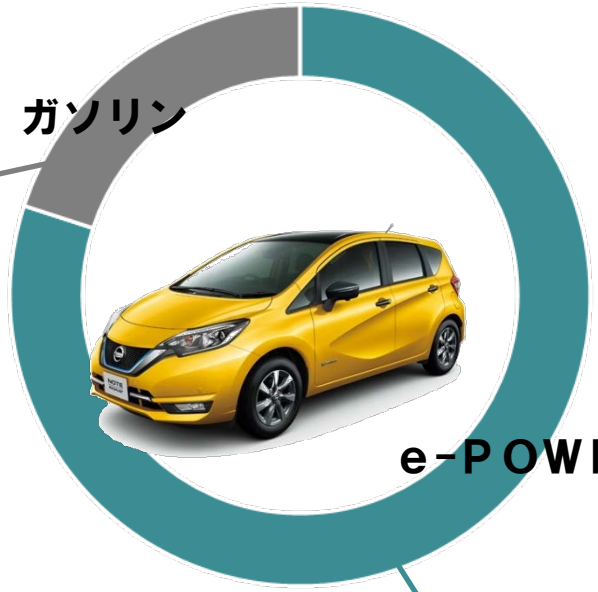
売上高増減分析



1.2019年3月期決算概要

e-POWER構成比

ノート

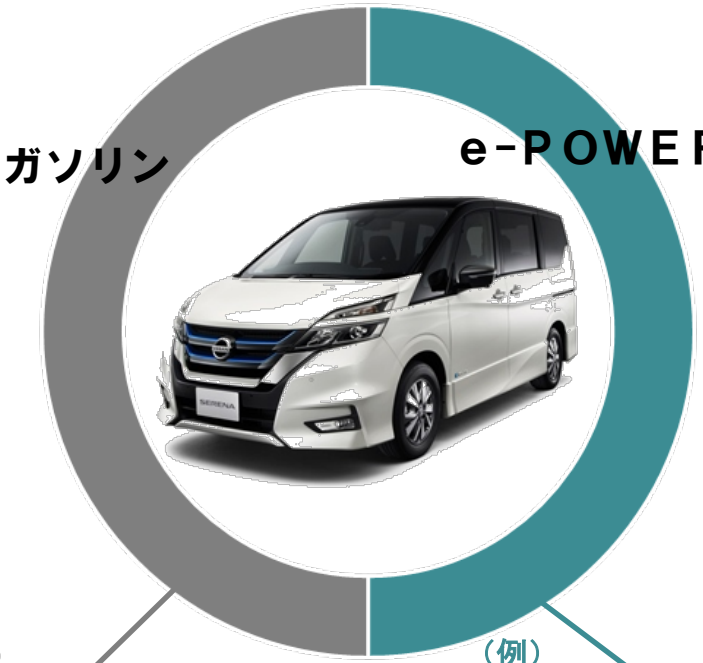


（例）
グレード　:X
車両価格:1,523,880円

（例）
グレード　:e-POWER X
車両価格:2,021,760円

価格差　497,880円

セレナ



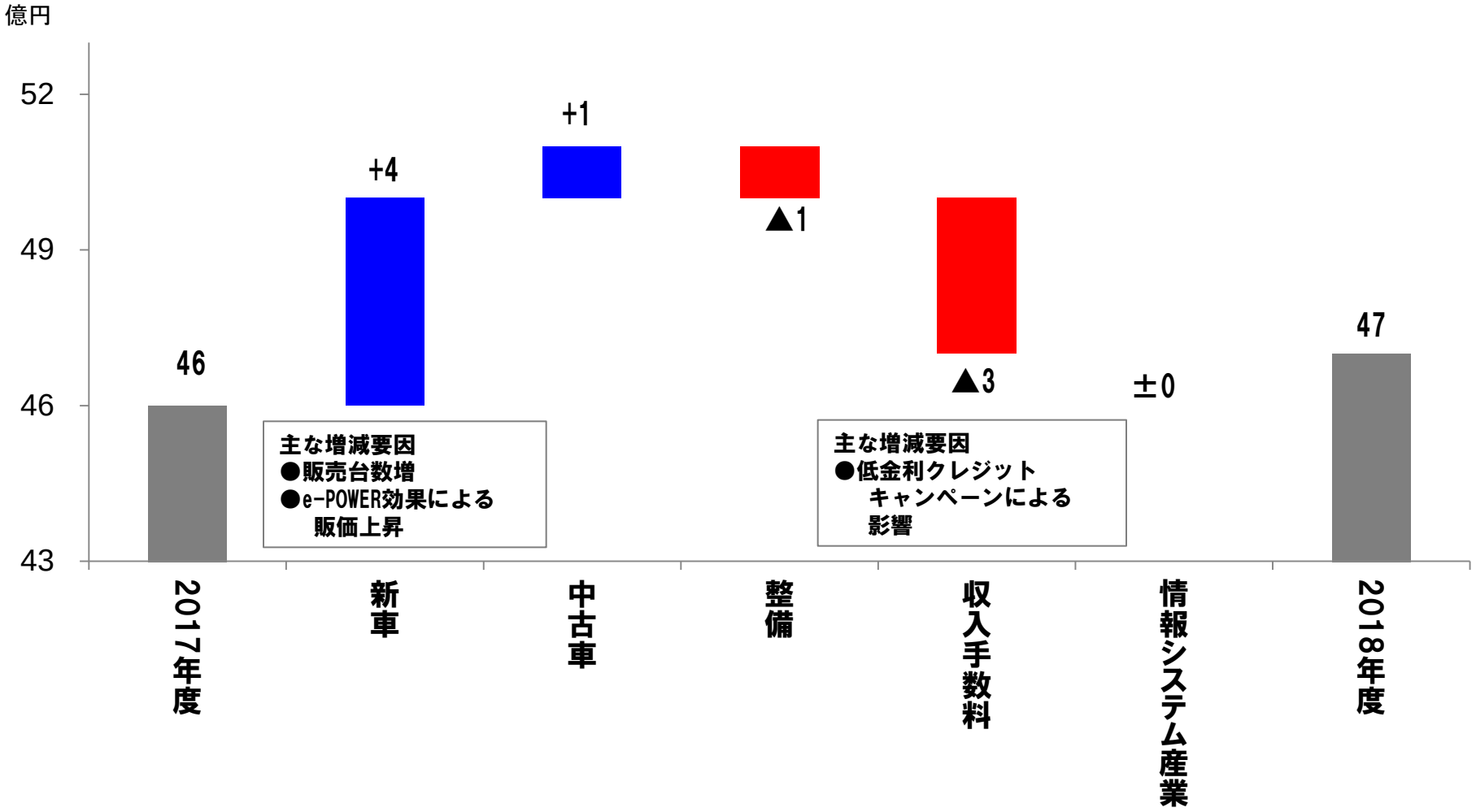
（例）
グレード　:X
車両価格:2,504,520円

（例）
グレード　:e-POWER X
車両価格:2,968,920円

価格差　464,400円

1.2019年3月期決算概要

営業利益増減分析



1.2019年3月期決算概要

■財務状況

資産の部　88,514百万円

（前期比　1,020百万円増）

＜主な増加分＞

商品	764百万円
有形固定資産	3,215百万円

＜主な減少分＞

受取手形及び売掛金	243百万円
その他流動資産	985百万円
投資有価証券	1,048百万円
その他投資資産	668百万円

負債の部　47,096百万円

（前期比414百万円減）

＜主な増加分＞

長短借入金	2,104百万円
未払法人税等	253百万円

＜主な減少分＞

その他流動負債	1,610百万円
長短リース債務	691百万円
長短資産除去債務	256百万円
退職給付に係る負債	168百万円

純資産の部　41,418百万円

（前期比　1,434百万円増）

＜主な増加分＞

利益剰余金	2,196百万円

＜主な減少分＞

その他の包括利益累計額	884百万円

1.2019年3月期決算概要

■キャッシュフロー

営業活動によるキャッシュフロー　12,466百万円

＜主な増加分＞

税金等調整前当期純利益	4,527百万円
減価償却費	3,451百万円
売上債権の減少	238百万円

＜主な減少分＞

退職給付に係る資産負債	524百万円
法人税等の支払額	503百万円

投資活動によるキャッシュフロー　▲13,541百万円

＜主な増加分＞

投資有価証券の売却	1,291百万円

＜主な減少分＞

有形固定資産の取得	13,447百万円
土壌汚染対策費用	815百万円
預り保証金の返還	484百万円

財務活動によるキャッシュフロー　1,020百万円

＜主な増加分＞

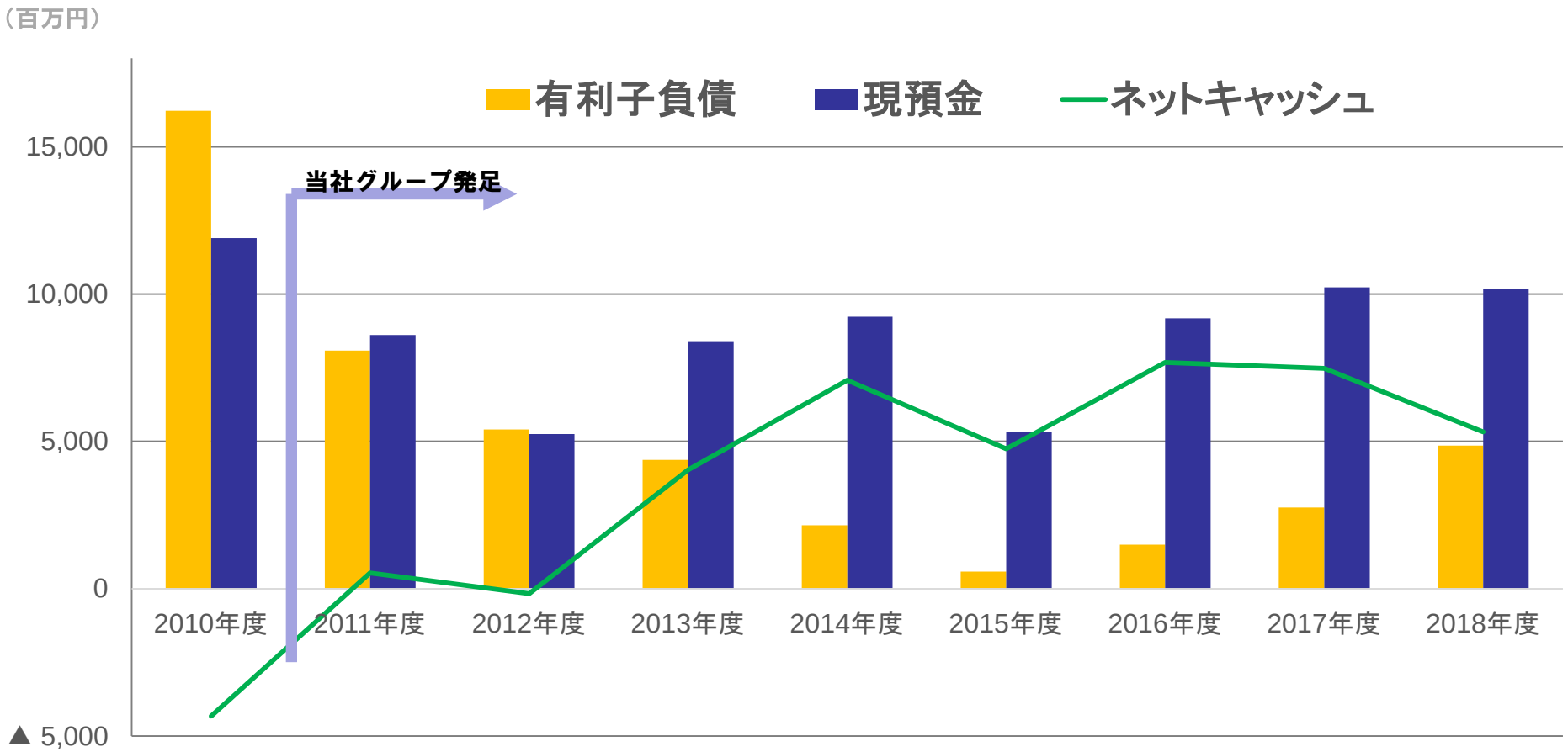
長短借入金の返済・収入の差引による収入	2,104百万円

＜主な減少分＞

リース債務の返済	464百万円
配当金の支払	530百万円

1.2019年3月期決算概要

ネットキャッシュ推移



安定したネットキャッシュを確保
強固な財務体質となった

２．2020年3月期業績予想

代表取締役社長　　酒井　信也

2.2020年3月期業績予想

業績予想サマリー

（百万円）

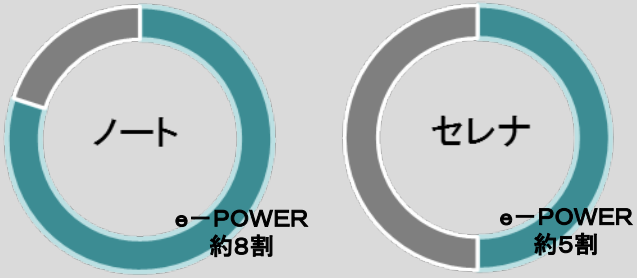
	2019年3月期 実績	2020年3月期 業績予想	前期比	
売上高	155,801	156,000	+199	+0.1%
営業利益	4,721	4,800	+79	+1.7%
経常利益	4,292	4,400	+108	+2.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,728	2,500	▲228	▲8.4%

2.2020年3月期業績予想

■業績予想のポイント

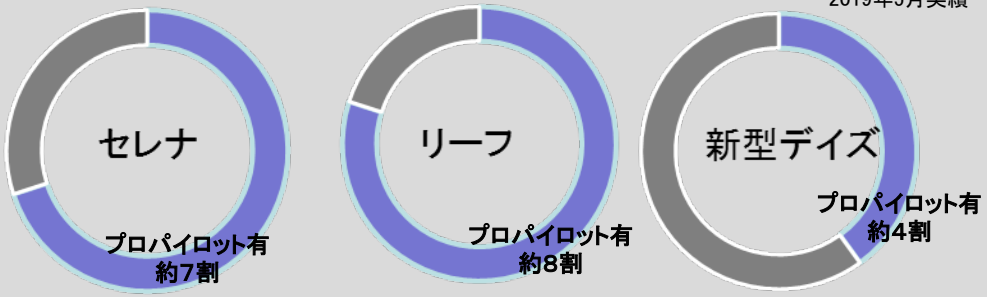
①「ニッサン インテリジェント モビリティ」により開発された商品群の拡販

電動化技術＜e－POWER＞



知能化技術＜プロパイロット＞

※2018年度実績
新型デイズのみ
2019年5月実績



②提案型営業による付加価値販売の強化（新・中期経営計画）

ナビゲーション、ドライブレコーダー、ボディコート等、
お客さまのニーズに合わせたご提案の徹底

③ストックビジネスの収益拡大

メンテプロパック会員数：　約13万人（当社乗用車ユーザーの約4割）

2019年3月末

2.2020年3月期業績予想

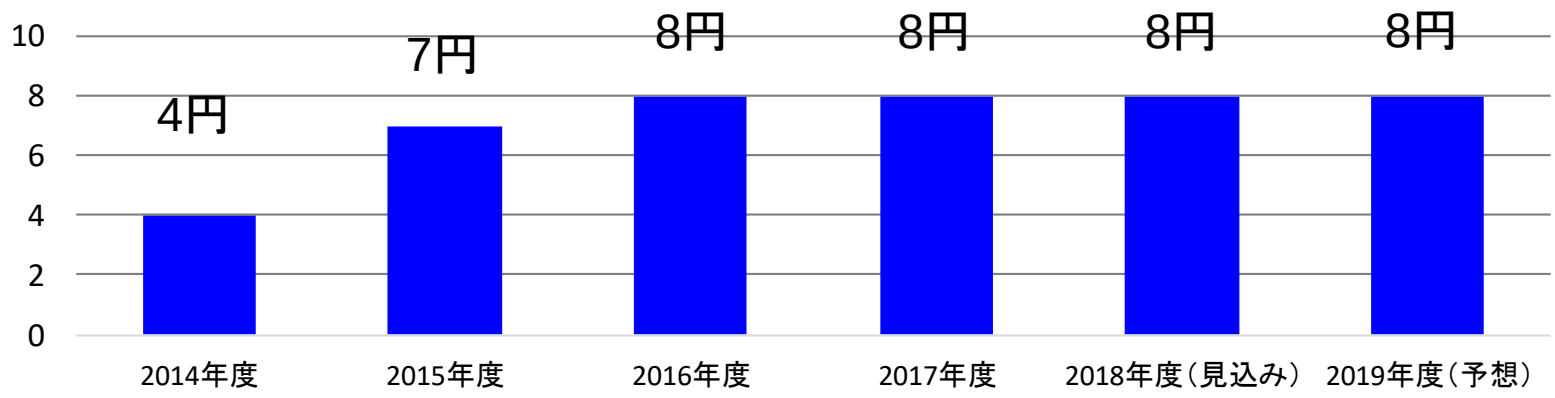
■配当の基本方針

●株主の皆さまへの利益還元 **経営の最重要課題**

●成長性を確保するための内部留保にも考慮

●安定的な配当を行う

[配当推移]



副社長執行役員

たけばやし　あきら

竹　林　　彰

略歴	
1982年	日産自動車㈱　入社
2003年	㈱日産サティオ島根　代表取締役社長
2006年	日産自動車㈱　マーケティング本部　エリアマーケティング部　部長
2007年	同　営業支援部　部長
2010年	同　国内M＆S業務部　部長
2012年	中央日産㈱※　代表取締役社長
2016年	日産自動車㈱　日本営業本部　副本部長 兼　当社　取締役（2018年6月退任）
2019年	当社　副社長執行役員 （6月21日付で代表取締役社長就任予定）

※中央日産㈱・・・首都圏販売統括会社

３．新・中期経営計画

副社長執行役員　　竹林　　彰

3.新・中期経営計画

■ 中期経営計画スローガン

次の東京へ、
お客さまと共に。

日産東京販売ホールディングス（株）中期経営計画 2019～2022

■前・中期経営計画（2014～2018）の振り返り

目標値

売上高	営業利益	売上高営業利益率
2,000億円	100億円	5.0%

成長戦略5本柱

①グループ戦略　②規模の拡大戦略　③営業戦略

④店舗ネットワーク戦略　⑤人材戦略

成 果

●③ベストプラクティスの推進により、付加価値販売が定着　⇒　業績アップ

●④店舗ネットワークの拡充

（空白エリアへの出店（4店舗）、大規模リニューアル（9店舗）、
大型商業施設への常設展示場1ヶ所）

●①⑤グループ内でのシナジー向上、ダイバーシティの推進

課 題

●②規模の拡大戦略

M＆A未実現により、目標値未達

3.新・中期経営計画

■自動車業界を取り巻く環境

①自動車業界は今、「100年に一度の大変革期」

～キーワードは「CASE（ケース）」～

Connected つながる

Autonomous 自動運転

Sharing シェア

NISSAN e-シェアモビ e-share mobi

Electric 電動化

②国内の自動車需要は緩やかに減少

全需見通し	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	530万台	530万台	515万台	500万台	485万台

出典：自販連「ディーラービジョン」（2018年版）
※2022年度数値はディーラービジョンの数値を基にした弊社予測値

■ 基本方針

日産東京販売ホールディングスは
日本一のマーケット“東京”でトップクラスの
カーディーラーグループで
あり続けることを目指します。

・私たちがお客さまに約束すること

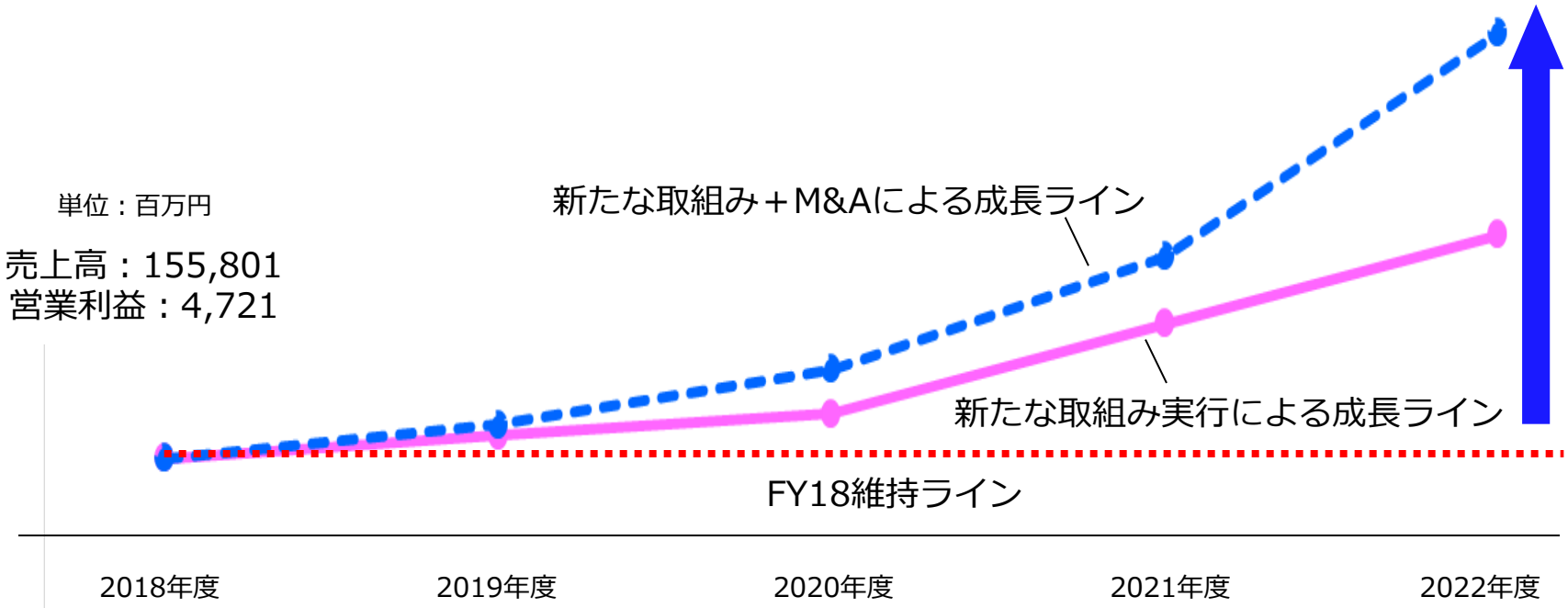
3.新・中期経営計画

■取り組む内容

ベストプラクティスの更なる徹底	提案型営業による付加価値販売の強化	お客さまニーズに即したカーライフ商品の拡販 新しい乗り方としての個人リースをPR EV時代に即したL2H※1の拡販etc
新たな販売スタイルと新商品の開発	ITを軸とした店舗投資と売り方改革の実行	都心型店舗をサポートするVRの導入 お客さまニーズの高い、WEB完結型販売の実現
	お客さまに安心.安全.便利を提供する商品開発	NIM※2対応型メンテプロパック※3や新サービス商品の開発、試乗車活用モデルのカーシェア実施etc
M&Aによる規模の拡大	自動車関連事業を中心に、グループ会社関連事業も含めた取り組み	1件/年のクロージング

※1：L2H・・・Leaf to Home＝EVから電気を取り出して外部（家屋全体や家電製品など）へ給電する為の装置。
※2：NIM・・・ニッサン インテリジェント モビリティ＝クルマを未来へと導く日産の取り組みや最先端技術の総称。
※3：メンテプロパック・・・車検、点検などをお得に受けられるパッケージ商品の名称。

■売上高・営業利益推移イメージ



全需見通し	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	530万台	530万台	515万台	500万台	485万台

出典：自販連「ディーラービジョン」（2018年版）
※FY22数値はディーラービジョンの数値を基にした弊社予測値

3.新・中期経営計画

■数値目標

	2018年度（2019年3月期）発表値	2022年度（2023年3月期）目　標
売上高	155,801	175,000
営業利益	4,721	5,500
配当性向	19.5%	30.0%

3.新・中期経営計画

■ 中期経営計画実現のための組織風土の醸成

弊社グループ社員それぞれが連携・協業し、能力を最大限に発揮することでお客さまの期待を超える価値の提供と企業の持続的成長を実現できると考えています。
私たちがお客様に約束する「笑顔」「誠実」「元気」は全てが「人」が形作るもの。
弊社グループはダイバーシティを重視し、個性を活かして活躍できる組織風土の醸成に取り組んで参ります。

NISSAN INTELLIGENT MOBILITY

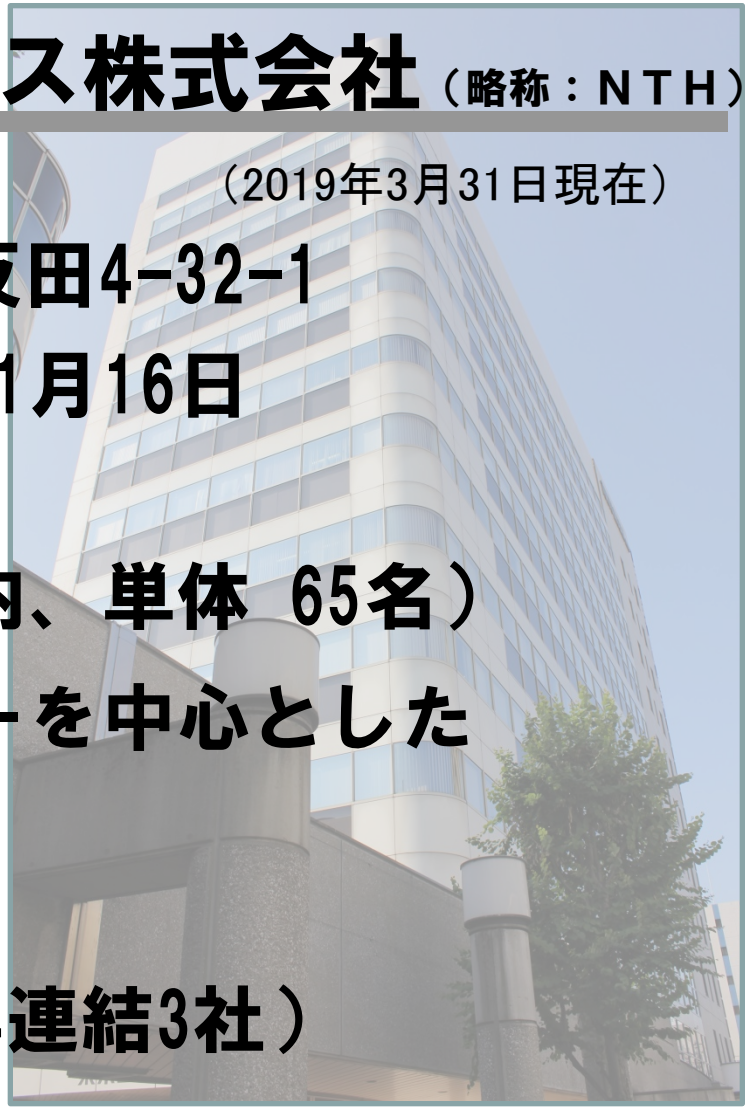
魅力的なラインナップ

■Appendix■
４．当社の概要

3.当社の概要

日産東京販売ホールディングス株式会社（略称：ＮＴＨ）

（2019年3月31日現在）



所在地	東京都品川区西五反田4-32-1
設立	昭和17年（1942）11月16日
資本金	137億5,206万円
従業員	連結 2,961名 （内、単体 65名）
事業内容	●自動車ディーラーを中心とした自動車関連事業 ●その他の事業
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社	10社（連結7社＋非連結3社）

3.当社の概要

[沿革]

年　月	概　　要
1942年	東京府自動車配給㈱として東京市京橋区に設立
1946年	幾度かの商号変更を経て、東京日産自動車販売㈱に商号変更
1961年	東京証券取引所市場第1部上場
1989年	東京日産コンピュータシステム㈱　設立
2004年	東京日産コンピュータシステム㈱　ジャスダック市場上場
2004年	会社分割により持株会社体制へ移行し、㈱東日カーライフグループに商号変更
2011年	日産プリンス東京販売㈱及び日産プリンス西東京販売㈱を子会社化 日産ディーラー事業を大幅に拡大した新たな持株会社体制へ移行し、 日産東京販売ホールディングス㈱に商号変更

3.当社の概要

［自動車ディーラー事業］

日産系販売会社では全国で最大規模

中核三販社

連結営業利益の約8割を占める中核事業 （2019年3月31日現在）

東京日産自動車販売株式会社

都内全域に新車34店舗、中古車3店舗

多摩境店

日産プリンス東京販売株式会社

23区内に新車44店舗、中古車11店舗

小岩店

日産プリンス西東京販売株式会社

東京都下に新車35店舗、中古車8店舗

百草園駅前店

三販社合計　新車113店舗／中古車22店舗／ルノー5店舗

3.当社の概要

[グループ会社]

2019年3月31日現在

日産東京販売ホールディングス

連結子会社（7社）

- 自動車関連事業
  - 日産系販売会社
    - 東京日産
    - 日産プリンス東京
    - 日産プリンス西東京
    - ルノーNT販売
      ※日産プリンス東京内のバーチャルカンパニー
  - 車検・整備事業
    - NTオートサービス
    - 車検館
- システム関連事業
  - 東京日産コンピュータシステム
    ジャスダック上場
    証券コード3316
- その他事業
  - エースビジネスサービス
    保険代理業、商事、ビルメンテナンス事業

非連結子会社（3社）

- NT陸送
  車両輸送、登録代行業務
- 日産ピーズ フィールドクラフト
  オリジナルキャンピングカーの企画・開発・販売
- 葵交通
  タクシー業

[株価動向および主要指標(連結)]

1. 株価動向

2019/5/22終値	279 円

年初来高値	343 円	2019年3月6日
年初来安値	242 円	2019年5月14日

2. 主要指標(連結)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
期末株価	220 円	325 円	365 円	281 円	278 円	302 円	428 円	293 円
1株当たり配当金	0 円	4 円	5 円	4 円	7 円	8 円	8 円	8 円
配当利回り	0.0%	1.2%	1.4%	1.4%	2.5%	2.6%	1.9%	2.7%
配当性向	0.0%	6.5%	7.1%	5.1%	13.7%	13.3%	24.2%	19.5%
EPS	38.06 円	61.30 円	70.45 円	78.34 円	51.14 円	60.22 円	33.00 円	41.10 円
BPS	224.53 円	292.41 円	399.60 円	475.73 円	478.20 円	551.16 円	583.66 円	603.00 円
PER	5.8 倍	5.3 倍	5.2 倍	3.6 倍	5.4 倍	5.0 倍	13.0 倍	7.1 倍
PBR	1.0 倍	1.1 倍	0.9 倍	0.6 倍	0.6 倍	0.5 倍	0.7 倍	0.5 倍
ROE	18.5%	23.7%	20.4%	17.9%	10.7%	11.7%	5.8%	6.9%
ROA	3.6%	6.2%	6.5%	6.7%	4.5%	4.7%	2.5%	3.1%

4.その他　お問い合わせ

日産東京販売ホールディングス株式会社
法務・広報・IR部
TEL：03−5496−5234
https://www.nissan−tokyo−hd.co.jp

本資料につきましては、株主・投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。